

Newsletter vol. 93 (Mar. & Apr., 2023)



千曲川沿いの堤外農地で咲き誇る杏の花【長野/日本】

本号の記事

■ お知らせ

6月23日、第2回フィリピン学校防災トークイベント(オンライン)開催!参加者募集中

日本

▼長野: 長沼地区まちづくり計画「ホームタウン・ながぬま改訂版」冊子完成と長沼プロジェクト事務所閉鎖のお知らせ

■ フィリピン

JICA草の根技術協力事業「中部ビサヤ地方における学校防災強化・推進事業」

- ▼教育省全国防災管理計画会議での活動紹介
- ▼第2回 学校防災タスクフォース会議の開催

- ▼セブ市、ラプラプ市、カルカル市の教育省地区事務所から表彰盾を拝受しました!
- ▼タリサイ市 ジェラルド・アンソニー・グリヤス市長への表敬訪問
- ▼ビサヤ管区気象台 PAGASAへの表敬訪問
- ミャンマー
 - ▼子どもたちの教育継続支援の実施とご協力のお願い(継続)
 - ▼巨大サイクロン・ナルギスから15年
- はじめまして!新スタッフの紹介

-お知らせ-

フィリピン学校防災トークイベント 「第2回 テーマ: それってほんまに役に立ってるん? -事業成果を多面的角度から評価する-」(オンライン)



3月24日、第1回フィリピン学校防災トーク「先生、なんでフィリピンいくん? – JICA草の根技術協力事業『中部ビサヤ地方における 学校防災強化・推進事業』の派遣報告 – 」をオンラインで開催しました。ご多忙の中、ご参加いただいた23名の皆様、ありがとうございました!

第2回目の開催は6月23日です。前回ご参加いただいた方も、今回が初めて、という方も、是非ご参加ください。以下、ご案内です。

■ 第2回 フィリピン学校防災トーク:それってほんまに役に立ってるん? - 事業成果を多面的角度から評価する -

フィリピン中部に甚大な被害をもたらした巨大台風ハイエン(ヨランダ)から、今年の11月で 10年を迎えます。

SEEDS Asiaは、被災したセブ島で緊急支援を実施し、2014年から兵庫県教育委員会と連携しながら、JICA草の根技術協力事業にて学校防災支援活動を展開してきました。台風ハイエンから10周年を迎えるに当たり、現地での防災教育・防災管理の様子や、被災からの歩みを、「フ

ィリピン学校防災トーク」として連続してご報告いたします。フィリピンの暮らし・防災・教育、国際協力について、ご興味のある方、是非ご視聴ください。

- 日時 2023年6月23日 15:00~17:00
- ■申し込み方法

↓Google Formにてお申込みください↓

https://forms.gle/LAbmGmQgWNQRS6mT9

- プログラム(予定)
- 14:50 オンライン開場
- 15:00 開始·趣旨説明
- 15:05 ①2013年台風ハイエンと2022年台風オデットが示す学校防災の成果と課題
- 15:30 ②2022年11月~12月実施ベースライン調査報告(外部専門家による第三者調査)
- 16:00 ③JICA草の根技術協力事業

「中部ビサヤ地方における学校防災強化・推進事業」の目指す成果と指標

16:15 ④オープンディスカッション、質疑応答

17:00 閉会

■場所 オンライン(Zoom)開催 お申込みいただいた方にリンクをお送りします

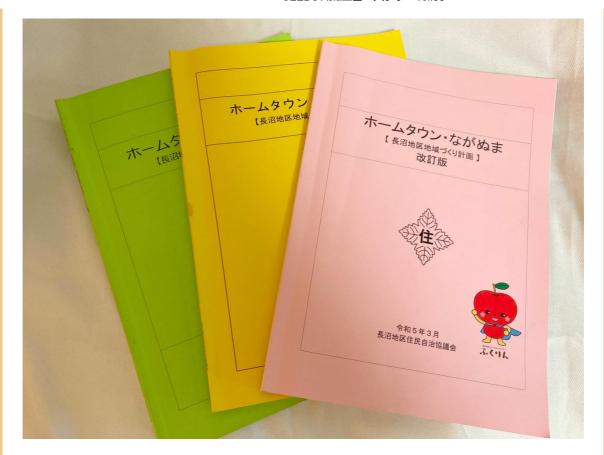


日本

▼長野:令和元年台風19号で被災した長野市長沼地区の復興まちづくりを支援します。

キーワード:令和元年東日本台風、長沼地区、復興まちづくり計画支援

※本活動は長野市委託事業とジャパン・プラットフォームの支援により実施しています。



長野:長沼地区まちづくり計画「ホームタウン・ながぬま(改 訂版)」冊子完成と、長沼プロジェクト事務所閉鎖のお知らせ

SEEDS Asiaは、令和元年東日本台風によって甚大な被害を受けた長沼地区の復興まちづくりへの歩みを応援してきました。2022年度には、長沼地区まちづくり委員会が組成され、委員メンバー34名が主体となって、地区のまちづくり計画「ホームタウン・ながぬま改訂版」を策定するための支援業務に携わる機会をいただきました。

具体的には、①協議ツールの提供、②協議内容の整理、③データの収集・分析、④計画書の仕上げ編集作業のサポートを担当しました。3月には「ホームタウン・ながぬま(改訂版) (※)」が完成し、4月には印刷を経て地区内の全戸に配布されたところです。

上記の「ホームタウン・ながぬま(改訂版)」の完成を以って、SEEDS Asiaの長沼プロジェクト事務所は4月13日に閉鎖となりました。今後は、ホームタウン・ながぬま改訂版で記載された事業方針の具体化とその実現を図るべく、以下の2つの活動を通じ、遠方から応援をしていく予定です。

- 協議経緯のまとめ作業:計画の背景についてまちづくり委員会の組織内外で共通理解を得るためのもの
- これからのまちについて考える復興リレー講座」の継続:2020年から実施している同講座を継続し、「ファンドレイジングを含めた持続的な活動計画、助成金申請書類の書き方講座や研修などの実施

本事業に関わり、ご協力いただいた長沼地区まちづくり委員会の皆様、長沼地区住民自治協議会の皆様、長野市復興特別対策室の皆様、ジャパン・プラットフォームの皆様に深く感謝申し上げます。

(※初版は被災前の平成31年3月に発行され(写真左:緑色冊子)、被災後に初版が再発行されました(写真中央:黄色冊子)、被災後の人口減少や顕著化した社会課題を踏まえた計画の見直し・再検討を経て、この度の改訂版(写真右:桃色冊子)の発行に至りました。)



フィリピン

▼中部ビサヤ地方の学校防災推進体制の整備・強化を支援しています。

キーワード:包括的学校防災、兵庫県教育委員会、EARTH、JICA、研修プログラム、学校防災学校防災推進計画、気象教育、伝承

※本活動はJICA草の根技術協力事業(地域活性化型)の支援により実施しています。



教育省全国防災管理計画会議での活動紹介

SEEDS Asiaは、マニラ・ケソン市で行われた教育省全国防災管理計画会議に教育省のパートナー団体として招待していただきました。この会議は教育省本省防災管理局が主催したもので、フィリピンのすべての地方から700人に及ぶ教育省職員が出席し、防災管理局の方針や計画、それぞれの地方や地区の防災管理に関する予算について話し合われました。

本会議の3日目にあたる3月9日に、SEEDS Asiaの現地駐在事務所代表から、台風ハイエン(ヨランダ)以降のフィリピンにおける学校防災支援事業について発表の機会をいただきました。さまざまな地方の教育省職員の方々と交流する機会もあり、それぞれの地方・地区に関する学校防災の現状や課題などについて伺いました。現行案件を通じて、今後も中部ビサヤ地方をはじめとする、フィリピンの防災に貢献できるよう努めてまいります。

ご参考:フィリピンの災害リスクと重点課題

フィリピン共和国は年間平均 20以上の台風に見舞われるとともに、環太平洋火山帯の真上に位置する島嶼国です。気候変動を含む要因により 自然災害のリスクが年々高まっている一方で、無秩序な開発やインフラの未整備、都市部への人口集中により、洪水や土砂災害の被害も甚大化しています。2010年には 同国で「防災法」が制定され、教育省含む行政機関による防災管理部署の設立が義務となったほか、 2015年には教育省単独でも行政から学校単位に及ぶまでの防災体制の強化が法律として定められました。こうした法整備が進む一方、特に学校レベルでの防災への取り組みにはまだまだ時間がかかると見込まれています。学校防災の強化においては国

際的な「学校安全のための包括的フレームワーク」が採用されており、 以下の3つの柱で推進されています。

- 1. 学校建物の強化
- Ⅱ. 学校防災管理体制の強化
- Ⅲ. 防災教育の強化

SEEDS Asiaは、2013年にフィリピンを襲った台風ヨランダ(国際名:ハイエン)の被害から、フィリピンの中部ビサヤ地方の学校防災支援事業を展開しています。中でも、兵庫県教育委員会とは長期的なパートナーシップを組み、JICAの草の根技術協力事業のスキームを活用しながら、現地教育省による学校防災を強化するプロジェクトを段階的に実施しています。





第2回 学校防災タスクフォース会議の開催

3月30日、第2回学校防災タスクフォース会議を開催しました。今回は2月に開催した第1回よりも細かい内容に踏み込み、以下の3点について意見を出し合いました。

- 教育省第7地方で学校防災を推進するトレーナーの選抜基準や派遣計画案
- 学校防災研修パッケージの内容
- 試験的に学校防災研修パッケージを受けるモデル校の選定方法について

今回話し合った内容は、今後も継続的にタスクフォース会議を行う中で固めていく予定です。 学校防災タスクフォースと連携をしながら、より良い学校防災研修パッケージの開発や教育省第7地方における学校防災推進計画の策定ができるよう努めてまいります。







セブ市、ラプラプ市、カルカル市の教育省地区事務所から表彰盾を拝 受しました!

台風ハイエン以降のSEEDS Asiaによるフィリピンにおける学校防災のプロジェクトや緊急支援などの長期にわたる取り組みに対して、セブ市、ラプラプ市、カルカル市の教育省地区事務所から表彰盾をいただきました。このような形でSEEDS Asiaの取り組みに対してご理解いただけたことを大変有難く感じております。

現在進行中のフィリピンにおけるJICA草の根技術協力事業「中部ビサヤ地方における学校防災強化・推進事業」の中心・アドバイザリーグループである学校防災タスクフォースには、それぞれの市の学校防災のスペシャリストの方々にも参加いただいています。それぞれの市における、これまでのSEEDS Asiaの事業を経験されてきた方々、連携・協力頂いてきた方々からのアイディアを頂戴し、中部ビサヤ地方全体における学校防災の推進に尽力してまいります。

タリサイ市 ジェラルド・アンソニー・グリヤス市長への表敬訪問

3月27日、SEEDS Asiaは、タリサイ市 ジェラルド・アンソニー・グリヤス市長に表敬訪問をしました。グリヤス市長には、SEEDS Asiaのフィリピン事業について紹介し、今後もタリサイ市と連携しながら防災事業を行っていきたいとお伝えしました。

グリヤス市長から、SEEDS Asiaの活動に関し、暖かいお言葉とご理解を頂けたことに大変有難く感じております。中部ビサヤ地方内の各地域との連携も強めつつ、学校防災を促進できるよう、事業運営をしてまいります。

☆詳細はこちら

→ タリサイ市での表敬訪問に係る報道について

ビサヤ管区気象台 PAGASAへの表敬訪問

SEEDS Asiaは、3月27日、フィリピン気象天文庁 (Philippine Atmospheric, Geophysical and Astronomical Services Administration: PAGASA) のビサヤ管区気象台に表敬訪問をしました。

以前のフィリピン事業でもご協力いただいたアルフレード・キブラット台長に、現在行っているJICA草の根技術協力事業「中部ビサヤ地方における学校防災強化・推進事業(兵庫県教育委員会との協働事業)」プロジェクトについて説明し、本事業では、気候変動への適応も重要な要素として取り入れていく旨をお伝えしてきました。キブラット台長からは、現在のビサヤ管区気象台での取組や、地域や研究機関との連携状況に関して紹介していただきました。

今後も、PAGASAをはじめ、気象学関係の専門家の方々からの協力を得ながら、フィリピンの学校の気候変動への対応に関する活動をサポートしてまいります。

♪詳細はこちら









ミャンマー

▼複合的リスクの中にある児童の教育機会の確保にご協力をお願いします。

キーワード:被災地への緊急支援 (個人寄付・団体寄付募集)



子どもたちへの教育継続支援実施と協力のお願い(継続)

ミャンマーでは、コロナ禍と政情不安の中、約2年間にわたり学校が閉鎖していました。このままでは、貧困の深刻化など、潜在的な社会課題が大きく膨らみ、より災害に脆弱な状態に陥ることが懸念されます。

長期的な視野に立ち、ミャンマーの未来と「学びたい」という子どもの希望を、温かいお気持ちで支えてくださいますよう、どうぞ、皆様お力添えのほど、よろしくお願い申し上げます。

詳細記事はこちら

巨大サイクロン・ナルギスから15年

13万8,366人が死亡・行方不明となった巨大サイクロン・ナルギス(2008年)が、ミャンマーを襲来してから、本日(5月2日)で15年になりました。ここに、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。

国際社会からの孤立が緊急支援の遅延とさらなる被害を生み出したことは記憶に新しいところです。ミャンマーとつながりを持ち続けること。そして子どもたちの未来を、世界の幅広い市民が支援すること。これが今後のミャンマーの未来をつくり、防災力の向上につながっていくと考えています。



現在のSEEDS Asia セブ事務所現地職員との写真 (本人、右から2番目)



フィリピン留学中にフィリピン民族舞踊のトレーニングを一緒に受けていた高校生達との写真(本人後列一番左)

はじめまして!新スタッフの紹介

皆さま、はじめまして。今年の1月よりセブ事務所で駐在員をしております、菅谷奈々と申します。

フィリピンとは、高校生の時にマニラ近郊でボランティア活動をして以来、10年以上何らかの形で関わってきました。大学ではフィリピンの言語や文化を学び、フィリピン大学での交換留学も経験しました。大学卒業後は、在外公館派遣員として、フィリピンとマレーシアの日本大使館で3年間勤務をし、その後、イギリスの大学院にて開発学を専攻し、貧困問題について勉強しました。

フィリピンを知っていくにつれ、子どもの貧困問題に関心を持つようになり、「生まれた場所に関わらず、すべての子ども達がいかにして健やかに幸せに過ごすことができるようにするには何が必要か、そして自分に何ができるのか」ということを考えてきました。

今回携わらせていただいている、「中部ビサヤ地方における学校防災推進事業」は、子ども達が健やかに幸せに過ごすための大前提として大切な、子ども達の命を守るための事業です。この事業を通して、彼らの家族にも災害から身を守るための意識や知識が広がれば、家族の命も守ることにつながり、子どもが貧困に陥る可能性を小さくすることが出来ると考えています。子どもをはじめとする全ての人が災害から命を守れるようにするため、カウンターパートとの対話を通して、中部ビサヤ地方の防災管理・防災教育を促進するための仕組みづくりをサポートしてまいります。皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

バックナンバーを読む

アジアの防災・被災地の復興を応援しませんか

SEEDS Asiaの活動は、皆さまからのご支援によって成り立っています。 寄付金は、SEEDS Asiaの活動全般へのご支援として、アジア各地での環境・防 災、被災地の復興に向けた活動に活用させていただきます。

尚、弊団体は認定NPO 法人格の交付を受けており、個人・法人からでも <u>ご寄付額に応じて税法上の優遇措置(税額控除対象)を受けることができます</u>。 皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をお願い致します。

▼活動に賛同する

銀行振り込みのほか、クレジットカードによるオンライン決済、携帯電話料金との同時引き落と しも可能です。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

銀行振込

三井住友銀行 岡本支店 口座番号:普通 0571188

口座名義:特定非営利活動法人SEEDS Asia

郵便振込

口座番号:00960-7-207240

口座名義:特定非営利活動法人 SEEDS Asia <トクヒ)シーズ アジア>

オンライン決済

下記のロゴをクリックしていただくか、こちらの日本財団による<u>CANPAN</u>(オンライン決済のページ)、あるいはソフトバンクのサイトにてお願い致します。

【ご注意ください】:

オンライン決済(CANPAN決裁サービス)は、2023年6月末を以ってサービスが停止されます。代替サービスを検討中ですが、7月以降はお手数恐れ入りますが、銀行振り込みか郵便、現金書留や持ち込みにてご対応いただきたく、お願いいたします。

注:決済システム上、領収書(税額控除対象証明書)の発行が時期によってはご寄付から約1か月後となりますこと何卒ご了承ください。

尚、<u>ソフトバンクサイトでのご</u>寄付につきましては、**自動的に匿名扱い**となってしまいますこと、何卒ご了承くださいませ。



◎◎つながる募金

賛助会員・インターン・ボランティア・

を募集しています!

▼賛助会員になる

SEEDS Asiaは賛助会員(一口3.000円)を募集しております。毎月のニュースレターの他、 SEEDS Asiaが主催する様々なイベントへのご案内や特典、実施国の情報等を受け取ることがで きます。

▼正会員になる

防災支援に関わる技術や専門性、活動を通じた支援が可能な方は正会員(一口10,000円)となっ ていただき、緊急支援調査チームや防災啓発イベントの運営をお手伝いください。

▼イベントに参加する・講演会の実施

国内においても、防災キャンプや講演会、啓発イベントなど災害に負けない人づくりの支援を実 施しています。講師派遣も行っておりますので、ご検討いただける方はrep@seedsasia.orgまで ご連絡ください。過去のイベントはこちら

▼インターンになる

国際協力や環境問題の改善、環境問題・防災/減災・復興まちづくりに興味があり、活動を共に 支えてくださる方々を歓迎しております。是非ご連絡お願いします!

▼ボランティアをする

イベント活動や翻訳などのお手伝いをしていただける方を募集しております。 SEEDS Asiaに興 味を持っていただいた方、SEEDS Asiaの事業地や、環境問題・防災/減災・復興まちづくりに興 味を持たれている方は、是非ボランティア登録を行ってください。 翻訳が必要になった時やイ ベントの実施に合わせて随時事務局からご連絡いたします。











ニュースレターは会員の皆様の他、関係者の皆様、スタッフと交流させていただいた皆様にお送りして おります。ご変更の場合は、お手数ですが本メールまでご返信ください。

認定NPO SEEDS Asia 658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本1-7-7-307 TEL 078-766-9412

配信停止 配信設定を変更